

一般社団法人ICT CONNECT 21 ご紹介

2020/1/28

ICT CONNECT 21

事務局

中村 義和

ICONご紹介の目的

ICONを**知**って欲しい

ICONを**応**援して欲しい

ICONを**活**用して欲しい

ICT CONNECT 21は、情報通信技術を活用して教育をより良くして行こうという意味を持つさまざまなステークホルダーが集まるオープンな場を提供するとともに、格差なく誰でもいつでもどこでも生涯を通じて学べる学習環境作りに取り組み、**教育の情報化の一層の進展**に寄与し、社会の発展に貢献することを目的としています。

- (1) 調査研究
- (2) 技術標準の策定と普及
- (3) 意義の一般への訴求 と利活用の推進
- (4) 政策提言
- (5) 国や地方公共団体が行う事業との連携
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

原動力とステークホルダ

企業

ICON

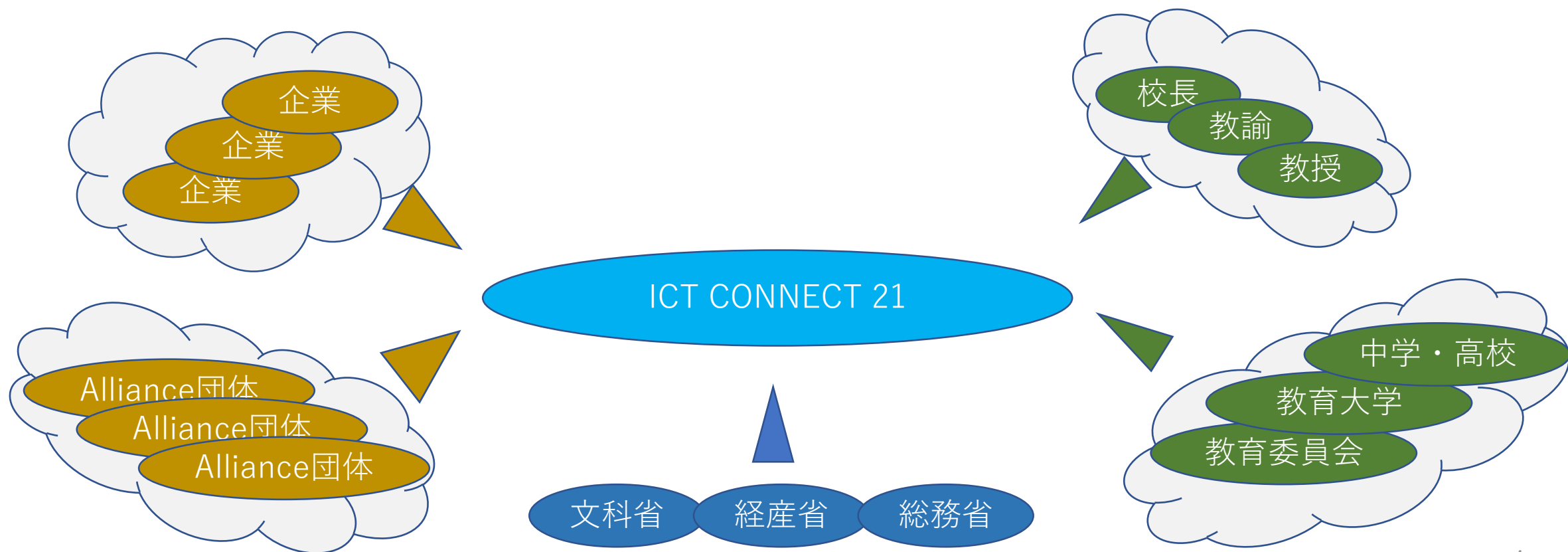
個人

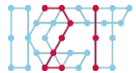
AL

省庁

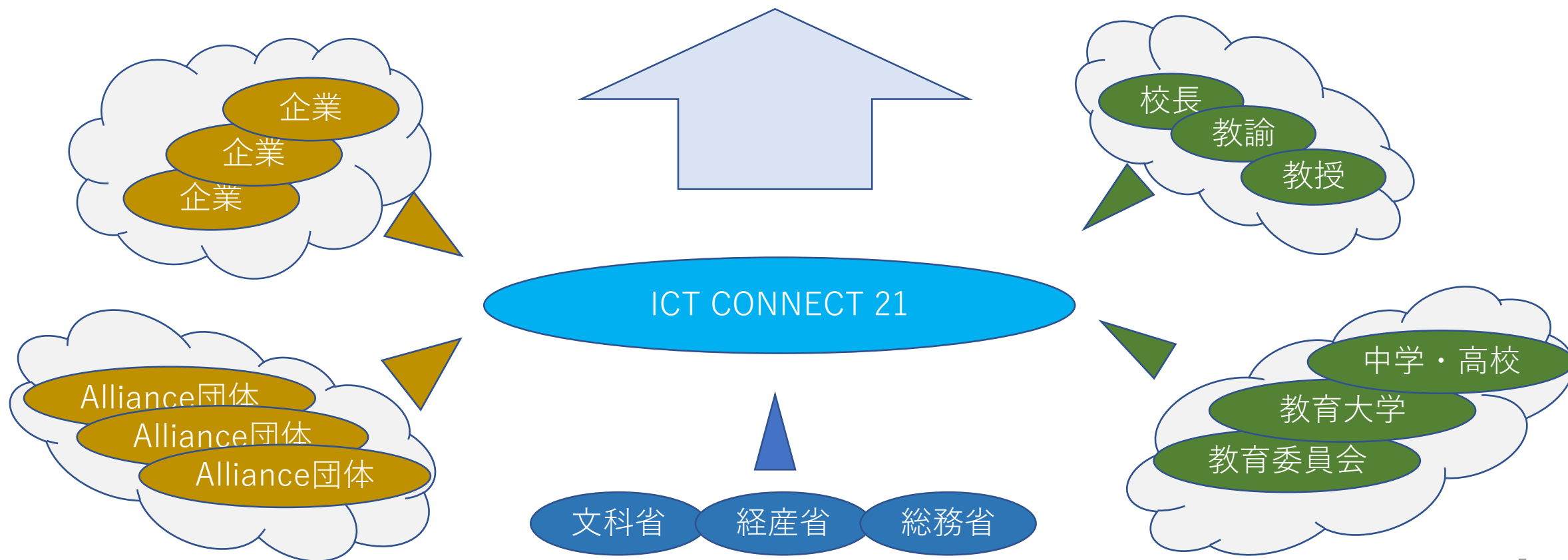
教委

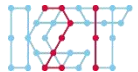
「みなさんと力を合わせ、教育情報化の進展を加速させたい」





企業	ICON	個人
AL	省庁	教委





開催中のWG、SIG

企業

ICON

個人

AL

省庁

教委

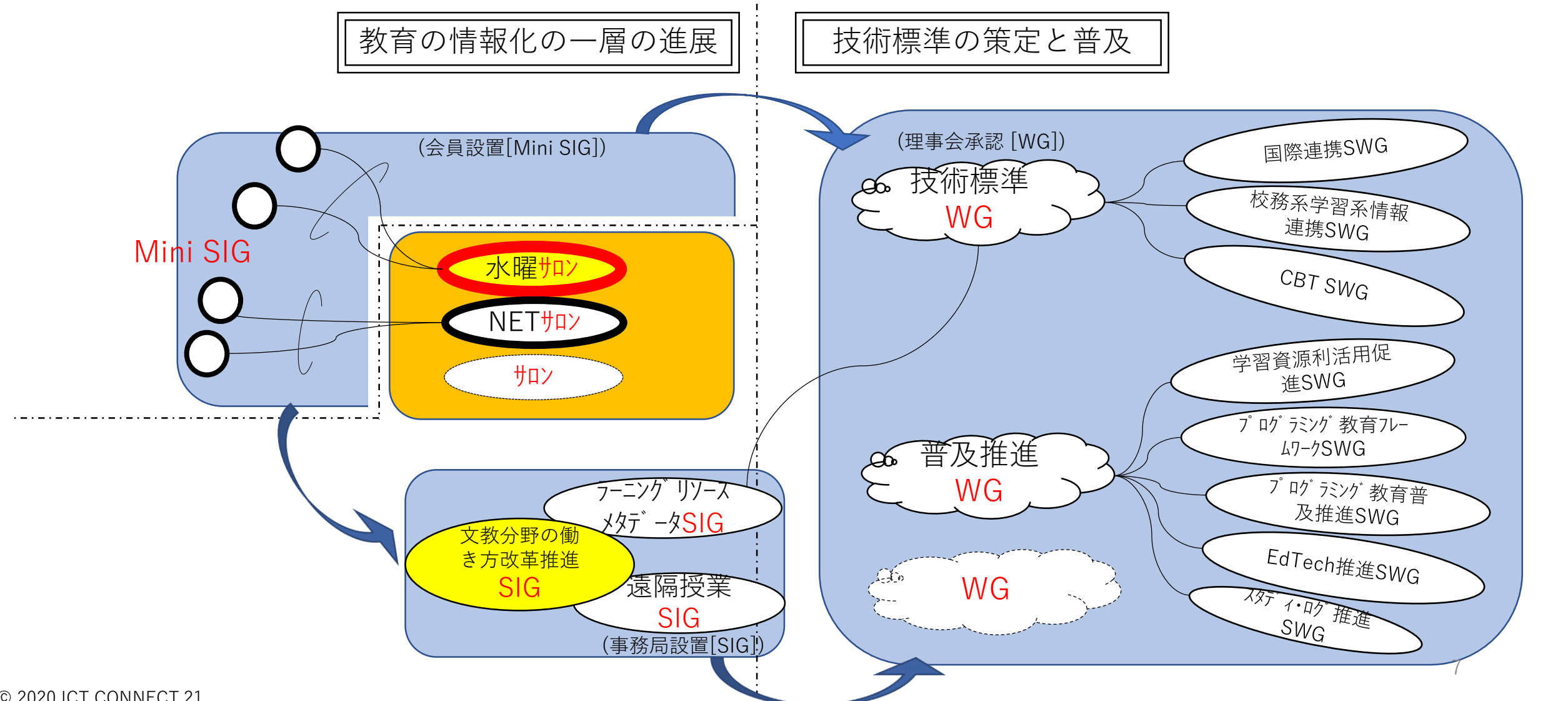
技術標準WG	普及推進WG	SIG
国際連携SWG	学習資源利活用促進SWG	遠隔授業SIG
校務系-学習系情報連携SWG	プログラミング教育フレームワークSWG	文教分野の働き方改革推進 SIG
ラーニングリソースメタデータSIG	プログラミング教育普及推進SWG	
CBT SWG	EdTech推進SWG	
	スタディ・ログ推進SWG	

WG : Working Group , SWG : Sub Working Group , SIG : Special Interest Group

みんなが容易に集う、オープンな場の提供

<サロン>

- (今期の狙い)
- ・多くの人に参加してほしい
 - ・オフィスに来てほしい
 - ・ふれあいを通して、多くを感じて、考えて、行動につなげたい
 - ・支援を必要とする人と支援をしたい人をつなぎたい



企業

ICON

個人

AL

省庁

教委

(今期の狙い)

- ・多くの人に参加してほしい
- ・オフィスに来てほしい
- ・ふれあいを通して、多くを感じて、考えて、行動につなげたい
- ・支援を必要とする人と支援をしたい人をつなぎたい

みんなが容易に集う、オープンな場の提供

<サロン>

- ・ 第4回 9/4
京都造形芸術大学副学長 [本間正人氏](#)
「[創ることによる学びとICT](#)」
- ・ 第5回 9/11
国立教育政策研究所総括研究官 [福本徹氏](#)
「[高度情報技術を活用した教育の可能性と課題](#)」
- ・ 第6回 9/25
株式会社テレワークマネジメント代表 [田澤由利氏](#)
「[テレワークの進展とテレエデュケーションの可能性](#)」
- ・ 第7回 10/2
朝日新聞編集委員 [氏岡真弓氏](#)
「[会長の教育観](#)」
- ・ 第8回 10/9 個別面談
- ・ 第9回 10/21
ITジャーナリスト [高橋暁子氏](#)
「[情報リテラシーについて](#)」
- ・ 第10回 10/21
デジタルメディア研究所所長 [橘川幸夫氏](#)
「[メディアと教育の融合](#)」
- ・ 第11回 11/27 個別面談
- ・ 第12回 12/4
元大分県教育委員会/株式会社Doit代表取締役 [土井敏裕氏](#)
「[Technologyと人をつなぐ「よい」授業とは](#)」
- ・ 第13回 12/11
ウチダ人材開発センタ インストラクター [五十嵐晶子氏](#)
「[ICT支援員の仕事と、ICT支援員から見た教育ICT活用の現状](#)」
- ・ 第14回 12/18
[経済産業省 教育産業室](#)
「[1人1台パソコンの実現に向けて行うこと](#)」

広報、情報提供活動

○ メールマガジンの発行

教育とICT関する重要な動向や、文部科学省や総務省・経済産業省などの省庁の動向、およびイベントや活動報告など様々な情報を定期的にメールマガジンで一般に向け配信（毎週金曜日配信/2019年9月現在の配信数約3,300/メール配信）

一般
(会員以外含む)

【ICON mag_200110】GIGAスクール構想をわかりやすく/EdTech導入実証事業 ★ ICT CONNECT 21 メールマガジン (2020.1.10) ★ ICT CONNECT 21 事務局の寺西です。 いつもメールマガジンをご覧いただき、ありがとうございます。 「GIGAスクール構想」について、ICT CONNECT 21会員間でも話題になっています。教育家庭新聞でわかりやすくまとめた記事が公開されましたのでご参考にされるとよいと思います。 ▼GIGAスクール構想 https://www.kknews 本日、日本教育情報 会員交流会でも、3 https://ictconnect21	【2】会員からのお知らせ ○令和元年度(第63回)岩手県教育研究発表会のご案内(岩手県) http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/happyoukai/r01/index.html 日時: 令和2年2月13日(木)～14日(金) 主催: 岩手県教育委員会 実施機関: 岩手県立総合教育センター 場所: 岩手県立総合教育センター、岩手県立生涯学習推進センター 花巻温泉(ホテル千秋閣、ホテル花巻) 標記研究発表会は、岩手県内の優れた教育研究や教育実践等を特設分科会3では、奥州市立若柳小学校6年1組のみなさんにご6年生理科「電気とわたしたち」micro:bitを使ったセンサーライ 【3】事務局からのお知らせ ○「学校のパソコン、1人1台」時	【4】関係省庁の新着情報 【文科省】 ○大学入試のあり方に関する検討会議の設置について https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00063.html 英語4技能評価のあり方、記述式出題のあり方、等が検討される予定。 ○令和3年度からの大学入試が開設 https://www.mext.go.jp/nyushi/ 英語の資格・検定試験の活用状況等が掲載。今後新着情報が掲載され継続的に更新される模様。 【総務省】 ○青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース(第9回)資料 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/ict_anshin/02kiban08_04000340.htm 文科省の取組、高校生ICTカンファレンス等が紹介されています。
GIGAスクール構想に連動する形で、経済産業省令和元年度補正予算に「EdTech導入実証事業」10億円が計上されています。 ▼EdTech導入実証事業(下記PDF、58ページ) https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2019/hosei/pdf/hosei_yosan_pr_1213.pdf “Society5.0を生きる子ども達は、さらにその先の「未来社会の創り手」となるべく、確かな基礎学力を土台にした創造性を育む必要があります。そのため、一人ひとりの理解度・特性に対して個別最適化され、居住地域による格差のない公平な学びの環境を構築し、プログラミング教育をはじめとするSTEAM学習の環境を構築することが必要です。” (上記PDF資料より) EdTechに期待されている役割は大変大きいです。	お問い合わせ先: 情報・産業教育 政府内で「学校のパソコン、1人1台」の議論が活発に行われています。そんな中、初等中等教育のデジタルトランスフォーメーションについての日本電子出版協会(JEPA)のセミナーに、ICT CONNECT 21 事務局長他が登壇いたします。 日時: 2020年1月28日(火) 15:00-17:30(14:30受付開始) 料金: 無料 会場: 麹町/紀尾井町: 株式会社パピレス 4階セミナールーム 詳細および申し込みは下記サイトをご覧ください。 https://kokucheese.com/event/index/587723/	

広報、情報提供活動

○SWG活動会員向け定期報告

全体		3-2-2
項目	内容	
1 事業方針	普及推進WG	
2 名称（事業名）	学習資源利活用促進SWG	
3 本シート記入日	2019年9月17日	
4 責任者	青島陽行	
上期報告		
項目	内容	
1 活動実績	・サブリーダーを選任する等の体制再構築。 ・学情研9月号に記事掲載。	
2 活動成果	学情研9月号に掲載された記事を起点にし、民間教育団体連絡協議会から著作権法第35条改正についての説明依頼があり、8月に開催された例会（文科省・経産省出席）にてICON事務局の本SWG担当者で説明を行った。	
3 活動所感	体制の構築に時間を要したが、サブリーダーを選任し役割に動ける体制にはなった。また、著作権法第35条改正について詳細を知る教育関係者ほとんどおらず、本SWGがリーダーシップを持って普及推進を図ることにより「教育の情報化」を進められることを確信した。	
4 備考		
下期予定		
項目	内容	
1 活動予定（第3Q）	・著作権法第35条改正により使用が可能な著作権利用シーンのモデルケースの検討 ・賠償金制度の学校への円滑な導入に向けた課題を整理	
2 活動予定（第4Q）	・著作権法第35条改正により使用が可能な著作権利用シーンのモデルケース作成 ・賠償金制度に関するアンケートの実施 ・著作権法第35条改正直後とセミナーの開催検討 ・初中等関係者からの問い合わせ窓口設置の検討	
3 活動OUTPUT	・著作権法第35条改正により使用が可能な著作権利用シーンのモデルケースを作成し、学校現場への導入事例をつくる。 ・著作権法第35条改正直後とセミナーを実施する。 ・初中等関係者からの著作権法についての問い合わせ対応体制をつくる。	
4 OUTPUTの今後の利用予定・見込み	・初中等の学校現場において、公衆送信時の著作権の利用に正しい理解が広がる。	
備考		

全体		3-4-1
項目	内容	
1 事業方針	WG・SIG	
2 名称（事業名）	EdTech推進WG	
3 本シート記入日	2019年9月18日	
4 責任者	石坂芳美	
上期報告		
項目	内容	
1 活動実績	文部科学省及びの先端技術活用推進は対して日本の初等中等教育におけるデータ標準化の意義や実現の方法を提案。 初等・中等教育関係者に対しては技術標準、特に教育のデータ標準は聞けていない。 6/26はCGT、8/27は教育データの標準化をテーマにした技術標準WG連絡会とアワード第10回、11回を開催。第11回は文部科学省及びの先端技術活用推進の科生委員はご登壇いただき出席者と講演を行う。	
2 活動成果	8月末に策定された「新時代を学びを支える先端技術活用推進方策（最終まとめ）」は教育データの標準化が取り上げられ、「一般社団法人 ICT CONNECT 21 からの情報提供をもとに作成」と記載された。	
3 活動所感	教育がEdTech活用の重要性を認識するに伴い、これまでの技術標準WGの議論の成果を提案し、政府は反映してもらいやすくなってきた。	
4 備考	今年度から、初等中等教育でエデュケーションプラットフォーム推進事業の一環で技術標準化を検討しているシステム連携協議会のメンバーとなっている。	
下期予定		
項目	内容	
1 活動予定（第3Q）	技術セミナー開催	
2 活動予定（第4Q）	技術セミナー開催	
3 活動OUTPUT	政策の具体化の提案。具体的には、本年度の政策においてこのまは教育データの標準化を通じた効果の活用を行うべき。具体的なステップを示しながら提案。	
4 OUTPUTの今後の利用予定・見込み	教育となる用途や関係者などのデータ標準が確立することにより、技術標準の活用が期待できる。	
備考		

全体		3-4-2
項目	内容	
1 事業方針	WG・SIG	
2 名称（事業名）	技術標準WG	
3 本シート記入日	2019年9月18日	
4 責任者	石坂芳美	
上期報告		
項目	内容	
1 活動実績	4/19、5/24、6/21、8/2、9/6にミーティング開催。 WGやISO、IMS GLCなどの規格団体の最新動向の把握。 技術情報も、地方を含めたより広いオーディエンスに対して伝える方法の検討。 技術セミナーのブラッシュアップ。	
2 活動成果	文科省の教育データの標準化をサポートする、データ標準化のための方策の議論と文科省及びの先端技術活用推進室へのインプット。	
3 活動所感	これまでの議論と調査研究をベースに文科省を中心とした府庁に対するインプットを行い、教育データの標準化として政策に結び付けられている。具体化の段階でどこをサポートしていくか、さらなる検討が必要。	
4 備考		
下期予定		
項目	内容	
1 活動予定（第3Q）	ミーティングの開催 府庁の政策の具体化の提案、一般への技術標準の認知の方法などがテーマ	
2 活動予定（第4Q）	ミーティングの開催 府庁の政策の具体化の提案、一般への技術標準の認知の方法などがテーマ	
3 活動OUTPUT	文部科学省及びの先端技術活用推進を中心とした府庁への具体的な政策提案 技術セミナー開催	
4 OUTPUTの今後の利用予定・見込み	民間的な規格団体の動向を把握しながら技術標準の確立に向けた活動を行うことにより、安定した技術標準の推進と国内内外の連携が期待できる。	
備考		

○雑誌への寄稿

- ・学情研 ICT CONNECT 21関係（事務局/SWG・SIGリーダー等）
- ・高校教育 EdTech推進SWG
- ・教職研修 プログラミング教育フレームワークSWG

企業	ICON	個人
AL	省庁	教委

企業	ICON	個人
AL	省庁	教委

広報、情報提供活動

企業

ICON

個人

AL

省庁

教委

○会員からの情報発信

当団体が管理・運営する情報発信媒体やリレーションメディアを通して、
教育とICTに関する情報を、掲載・発信可能

- 1) メールマガジン
- 2) Facebook
- 3) ICT CONNECT 21 会員向け一斉配信メール
- 4) ICT CONNECT 21 公式 Web サイト
- 5) リレーションメディア



メルマガ登録

イベント開催、後援

○ 会員交流会

会員への情報提供および会員間の情報交流の場として、会員交流会を開催。
文部科学省、総務省、経済産業省の各省から予算や政策の説明や、会員間の懇親の場として定期的に実施。

企業	ICON	個人
AL	省庁	教委

○主催、共催、後援など

- ・ 技術標準セミナー
- ・ 佐賀県教育フェスタ
- ・ 教育ICT展
- ・ 教育ITソリューションEXPO
- ・ Edvation x Summit
- ・ 教育の情報化推進フォーラム

- ・ かごしま「教育の情報化」フォーラム
- ・ eラーニングアワード
- ・ 理想教育財団教育フォーラム
- ・ プログラミング研修会
など

企業	ICON	個人
AL	省庁	教委

○講師派遣、出展企業紹介

- ・ 情報教育対応教員研修全国セミナー
- ・ 北海道教育研究所連盟研究発表大会
- ・ JEPAセミナー
など

企業	ICON	個人
AL	省庁	教委

教育委員会支援

企業	ICON	個人
AL	省庁	教委

○ 教育ICT担当者コミュニティサイト

ICT機器の整備の導入など、各自治体の教育ICT担当の方の疑問や悩みに、教育委員会指導主事を中心としたコミュニティメンバが受け答えします。

製品情報検索

- キーワードを入力するだけで検索できます。
- 学校種や教科などで絞り込みができます。
- 検索結果をダウンロードして、検討資料作成等に活用できます。

ICT活用事例検索

文部科学省や総務省、教育委員会、企業等の教育情報化に関する事例をキーワードで検索できます。

○ 教育ICT推進のための総合検索サイト

教育の情報化に関連する製品情報（HW・SW）や事例を検索できます。

よくある質問

教育の情報化を進めるにあたっての疑問やお悩みの解決策をFAQでまとめています。質問をリクエストすることも可能です。

質問例

- プログラミング教育を進めるために、どんな環境整備をすれば良いのですか。
- ICT活用による学力向上等の検証方法について教えてください。

質問カテゴリ

整備、研修、予算、ICT支援員、保護者・住民・議会対応、プログラミング、ソフトウェア、アプリケーション、その他

ご相談・お問い合わせ

次のようなお問い合わせができます。

- ① 教育ICT担当者向け相談受付
- ② 事業者への一括相談・見積もり
- ③ 遠隔授業に関する相談受付
- ④ ICT CONNECT 21へのお問い合わせ

教育委員会支援

企業

ICON

個人

AL

省庁

教委

○プログラミング教育支援

小学校でのプログラミング教育実施を支援するために、ハンドブックの作成や教員研修の支援を行っています。

○教育委員会との共催、後援イベントの開催

- ・佐賀県教育フェスタ
- ・かごしま「教育の情報化」フォーラム

○教育委員会からの個別相談および企業紹介

- ・不登校など、遠隔授業支援
- ・研究発表会などへの企業出展

プログラミング教育 支援ハンドブック

監修：放送大学教授 中川一史
発行：一般社団法人ICT CONNECT 21

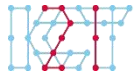
2019

授業支援はじめる！
スムーズに！

2020年度小学校プログラミング教育必修化に向け、
今、おさえておきたいことを紹介します！

- 文部科学省「小学校プログラミング教育の手引（第二版）」の改訂内容がわかる！
- プログラミング教育を学校で実施するためのヒントを紹介！
- 教科に合わせた実践事例、教材、プログラミングに関するキーワードも掲載！

小学校でどのような授業が行われるか
中学校の先生も必見！



アライアンス団体支援

企業

ICON

個人

AL

省庁

教委

○アライアンス団体と連携または主催し、多様なイベントを開催、講師派遣、広報支援

AI時代の教育学会

特定非営利活動法人eboard

特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウド コンソーシアム

特定非営利活動法人学習分析学会

情報コミュニケーション学会

一般社団法人新経済連盟

特定非営利活動法人全国初等教育研究会

一般社団法人デジタル教科書教材協議会

特定非営利活動法人日本e-Learning学会

日本デジタル教科書学会

一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会

一般社団法人日本教育情報化振興会

公益財団法人日本数学検定協会

一般社団法人日本電子出版協会

一般社団法人ファーストスタープロジェクト

民間教育団体連絡協議会

特定非営利活動法人Asuka Academy

一般社団法人e-Learning Initiative Japan

公益財団法人学習情報研究センター

一般社団法人組込みシステム技術協会

一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会

公益社団法人全国学習塾協会

一般財団法人全国地域情報化推進協会

一般社団法人電子出版制作・流通協議会

特定非営利活動法人日本イーラーニングコンソシアム

一般社団法人日本IMS協会

公益財団法人日本漢字能力検定協会

一般財団法人日本視聴覚教育協会

日本DAISYコンソーシアム

公益財団法人パナソニック教育財団

PCN（プログラミングクラブネットワーク）

特定非営利活動法人みんなのコード

○共同・受託研究

公益財団法人パナソニック教育財団

共同研究事業「ICT環境のレベルと児童生徒の認知過程との関連研究」

省庁プロジェクト推進・支援

企業

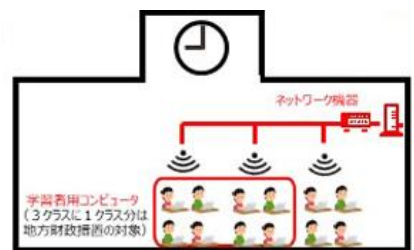
ICON

個人

AL

省庁

教委



文科省



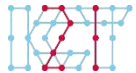
経済産業省

総務省



- ・ 未来の教室実証事業
教育コーチによる授業サポート、実証事業の普及・周知
- ・ EdTech推進
- ・ ICT活用教育アドバイザー
遠隔授業に関する相談受付
- ・ GIGAスクール構想

- ・ プログラミング教育推進
- ・ 教育分野のクラウド推進



課題 まだまだひろげたい

企業

ICON

個人

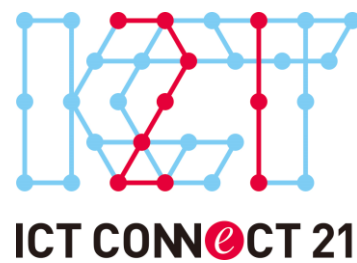
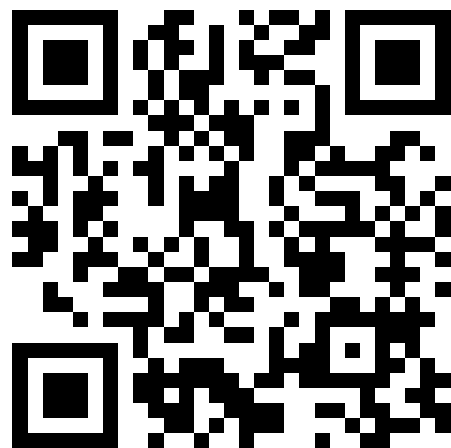
AL

省庁

教委

- ネットワークオブネットワークス
- 教育委員会支援の充実
- 1人一台化の実現
- 首都圏以外へのアプローチ
- カリキュラムマネジメントへのICTの組み込み

みなさまのお力が必要です



入会相談会実施中 (1/27 ~ 2/7)